

< 理学部数・物理学科（共通） >

(100 分)

1 座標平面上に点  $O(0,0)$ ,  $A(1,0)$ ,  $B(-1,0)$ ,  $C(0,2)$ ,  $D(0,1)$  をとる. 直線  $x=1$  を  $l$ , 直線  $x=-1$  を  $m$  とする. また,  $x$  軸上に  $O$  と異なる点  $P(t,0)$  をとり, 直線  $CP$  と直線  $l$  の交点を  $Q(1,u)$ , 直線  $DP$  と直線  $m$  の交点を  $R(-1,u)$  とおく. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $u, v$  を  $t$  を用いて表せ.
- (2)  $u, v$  が共に正となるような  $t$  の範囲と, そのときの台形  $QABR$  の面積のとり得る値の範囲を求めよ.
- (3) 線分  $QR$  は  $t$  に依存しないある定点  $E$  を通ることを示せ. また,  $E$  の座標を求めよ.

2

- (1) 正 6 角形の 6 つの頂点を  $1, 2, 3, 4, 5, 6$  とする. サイコロを 3 回振って出た目を順に  $i, j, k$  とする. 頂点  $i, j, k$  が 3 角形をなす確率, 直角 3 角形をなす確率, 鋭角 3 角形をなす確率, 鈍角 3 角形をなす確率をそれぞれ求めよ.
- (2) 正  $n$  角形の  $n$  個の頂点を  $1, 2, \dots, n$  とする. 番号  $1, 2, \dots, n$  が等確率で現れるくじを引いて戻すことを 3 回繰り返し, 出た番号を順に  $i, j, k$  とする. 頂点  $i, j, k$  が直角 3 角形をなす確率, 鋭角 3 角形をなす確率をそれぞれ求めよ.

3 座標平面上に関数  $f(x) = x^2 - 2x + 2 - |2x - 2|$  を用いて表される曲線  $C: y = f(x)$  がある.

- (1)  $y = f(x)$  のグラフの概形を描け.
- (2)  $m$  を定数とする. 点  $(0, 1)$  を通る傾き  $m$  の直線と曲線  $C$  の交点の数を求めよ.

(3)直線 $y=a^2$ と直線  $C$ によって囲まれる領域のうち,  $a^2 \leq y \leq f(x)$ かつ $0 \leq x \leq 2$ を満たす部分の面積を求めよ. ただし,  $0 < a < 1$  とする.

< 理学部化・生物・情報科学科(共通) >

(100 分)

1 <理学部数・物理学科(共通)>1に同じ。

2 <理学部数・物理学科(共通)>2に同じ。

3  $x > 0$  で定義された曲線 $y = \log x$ を  $C$ とする. 以下の問いに答えよ. ただし,

$\lim_{x \rightarrow 0} x \log x = 0$ を用いてよい.  $a$ を定数とする.

(1) 点 $(a, 0)$ から  $C$ に何本の接線が引けるか調べよ.

(2)  $C$ の法線で点 $(a, 0)$ を通るものがちょうど1本あることを示せ.

(3) 原点 $(0, 0)$ を通る  $C$ の接線,  $x$ 軸, 曲線  $C$ で囲まれた図形の面積を求めよ.

<理学部数学科(専門)>

(2 科目 180 分)

1 座標平面上で原点  $O$  を中心, 半径 1 の円を  $S$ とする. 点  $P$  が円  $S$ 上を動くとき,  $P$  にお

ける  $S$  の接線に点  $A(\frac{1}{2}, 0)$ から下ろした垂線の交点  $Q$  のなす軌跡を  $C$ とする.  $X$ 軸の正の方向に対して  $OP$  のなす角を  $t$ として,  $P$  の座標を $(\cos t, \sin t)$  で表す. このときの  $Q$  の座

標を  $(f(t), g(t))$  とする.

(1)  $f(t), g(t)$  を求めよ.

(2)  $g(t)$  の最大値を求めよ.

(3)  $C$  で囲まれた図形の  $y \geq 0$  の部分の面積を求めよ.

2  $0 < a < b$  を満たす実数  $a, b$  に対し, 曲線  $y = \frac{1}{x}$ ,  $x$  軸及び 2 直線  $x = a, x = b$  で囲まれた図形の面積を  $S(a, b)$  で表す. 以下の問いに答えよ.

(1)  $n$  を自然数とする.  $S(n, 3n)$  を求め, この値は  $n$  によらないことを示せ.

(2)  $\lim_{n \rightarrow \infty} S(n, n + \sqrt{n}) = 0$  が成り立つことを示せ.

(3) 次の極限値を求めよ.

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{2n} S(n, n+k)$$

3

(1) 不等式

$$\sqrt{n}\sqrt{a^2 + b^2} \leq a + b \leq \sqrt{m}\sqrt{a^2 + b^2}$$

が, すべての負でない実数  $a \geq 0, b \geq 0$  に対して成り立つような自然数  $m$  と  $n$  の範囲を求めよ.

(2)  $m$  を 2 以上の自然数,  $n$  を自然数とする. 不等式

$$\frac{m^{n+1} - 1}{n + 1} > \frac{m^n - 1}{n}$$

が成り立つことを示せ.

(3)  $m$  を 2 以上の自然数,  $n$  を自然数とするとき, 次の不等式

$${}_m n C_n \geq m^n > \sum_{i=0}^{n-1} m^i$$

が成り立つことを示せ.

4 1 から 9 までの自然数のそれぞれに赤か青の色を付ける操作を考える.

(1)  $X$  をこれら 1 から 9 までの自然数のうち相異なる 3 つの数からなる集合とする. 1 から 9 までのそれぞれに確率  $\frac{1}{2}$  で赤か青の色を付けるとき,  $X$  に属するすべての色が同じ色である確率を求めよ.

(2) 一般に, ある試行における 3 つの事象  $A, B, C$  について,

$$P(A \cup B \cup C) \leq P(A) + P(B) + P(C)$$

が成り立つことを示せ. ここで  $P(A)$  は事象  $A$  が起こる確率である.

(3) 1 から 9 までの自然数のうち相異なる 3 つの数からなる集合が 3 つある. それを  $X, Y, Z$  とする. 1 から 9 のそれぞれに確率  $\frac{1}{2}$  で赤か青の色を付ける操作をしたとき,  $X, Y, Z$  のどれにも両方の数が含まれる確率が 0 ではないことを示せ. ただし,  $X \cap Y, Y \cap Z, Z \cap X$  は空集合とは限らない.

< 理学部物理学科(必須)・情報科学科(選択) >

$$\left( \begin{array}{ll} \text{物理学科} & : \text{物理ともで 180 分} \\ \text{情報科学科} & : 2 \text{ 科目 180 分} \end{array} \right)$$

1 <理学部数学科(専門)> 1 に同じ。

2 <理学部数学科(専門)> 2 に同じ。

<文教育・生活科学部>

(100 分)

1 <理学部数・物理学科(共通)> 1 に同じ。

2

(1) 正 6 角形の 6 つの頂点を  $1, 2, 3, 4, 5, 6$  とする. サイコロを 3 回振って出た目を順に  $i, j, k$  とする. 頂点  $i, j, k$  が 3 角形をなす確率, 直角 3 角形をなす確率をそれぞれ求めよ.

(2) 正  $n$  角形の  $n$  個の頂点を  $1, 2, \dots, n$  とする. 番号  $1, 2, \dots, n$  が等確率で現れるくじを引いて戻すことを 3 回繰り返し, 出た番号を順に  $i, j, k$  とする. 頂点  $i, j, k$  が直角 3 角形をなす確率をそれぞれ求めよ.

3 <理学部数・物理学科(共通)> 3 に同じ。